

intra-mart Format Creator

Version6.0

リリース・ノート

初版 2006/10/27

1. はじめに

- (1) intra-mart FormatCreatorが動作するには、intra-mart WebPlatform/AppFramework Version 6.0.1(Patch1)以上が必要です。

この本ドキュメントに記載されていない事項については、intra-mart WebPlatform/AppFramework の同製品のリリースノートを参考ください。

- (2) 弊社では、この本ドキュメントに記載されている『検証済み環境』にて動作確認をおこなっています。
- (3) 弊社の提供するドキュメントに記述の無い全ての事柄は、サポート対象外です。
- (4) 本製品に関する、最新の技術情報やパッチ情報は次のサイトをご覧ください。

intra-mart Support Site : <http://www.intra-mart.jp/support/intramart.cgi>

2. バージョンアップ内容

次にこのバージョンで変更になった点を列挙します。

各機能の詳細に関しては、各マニュアルを参考ください。また、各機能の設定方法に関しては、各マニュアルまたはインストールガイド等を参考ください。

- (1) intra-mart Format Creator から作成したコンテンツ(申請書)は、ワークフローの基本機能と連携します。
- ワークフローの基本機能については次になります。
 - プロセス種別「ドキュメントワークフローワークフロー」、「申請者/承認者作成ワークフロー」
 - サブプロセス
 - 代理機能
 - 申請/承認/引戻し/再戻し/etc
- (2) ユーザーコンテンツ作成機能の操作性の向上
- 全面見直しによるユーザーインターフェイス向上を行いました。
- (3) イベント/種別検索 の廃止
- 以前のバージョンにあった機能です。当バージョンより、ワークフロー機能の“カテゴリ”と連携しました。
- (4) 一時保存機能 の廃止
- 以前のバージョンにあった機能です。当バージョンより、ワークフロー機能の“一時保存”と連携しました。
- (5) 代理機能を取り入れた申請書再利用機能
- 以前のバージョンでは、本人分の案件のみが対象でした。当バージョンより、代理先が処理した案件も利用できるようになりました。

3. システム要件

3.1 サーバ要件

intra-mart WebPlatform/AppFramework のサーバ要件に準拠します。

3.2 クライアント要件

intra-mart WebPlatform/AppFramework のブラウザ要件に準拠します。

3.3 検証済み環境

次に弊社動作検証済み(推奨)の intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせを記します。弊社では次の環境をサポートしますが、intra-mart 製品以外(OS、JDK、DB、Mail サーバ等)に起因する問題が発生した場合は保証致しかねます。

3.3.1 Service Platform および Server Manager

サーバ OS	ミドルウェア
Windows 2003 Enterprise Edition (SP1)	SUN JDK1.4.2_12
Solaris 10(SPARC 版)	SUN JDK1.4.2_12
Redhat Enterprise Linux Advanced Server3.2.3-47	SUN JDK 1.4.2_12
AIX 5L Version 5.2	IBM 32-bit SDK for AIX, Java 2 Technology Edition, Version 1.4.2

※intra-mart AppFramework の場合、Application Runtime の動作する環境は、Web アプリケーションサーバ製品の仕様に依存します。

3.3.2 Web Server Connector (WebPlatform(Resin)のみ)

サーバ OS	ミドルウェア
Windows 2003 Enterprise Edition (SP1)	インターネット インフォメーション サービス(IIS) 6.0

3.3.3 Application Runtime

intra-mart 製品	Web Application サーバ
intra-mart WebPlatform	Resin 3.0.21
	JBoss 4.0.4
intra-mart AppFramework	IBM WebSphere Application Server Ver.6.0.2.11
	BEA Weblogic Server 8.1J (SP5)

3.3.4 データベース

No	Web Application サーバ	サーバ OS	データベース(*1)	サーバ OS
1	intra-mart WebPlatform (Resin)	Windows 2003 Enterprise Edition (SP1)	Oracle10g Enterprise Edition	Redhat Linux Advanced Server 3.2.3-47
2	intra-mart WebPlatform (JBoss)	Redhat Linux Advanced Server 3.2.3-47	postgresql-8.0.7	Redhat Linux Advanced Server 3.2.3-47
3	BEA Weblogic Server 8.1J (SP5)	Solaris10	Microsoft SQL Server 2000	Windows2003 Edition (SP1)
4	IBM WebSphere Application Server Ver.6.0.2.11	AIX 5.2	IBM DB2 UDB ver8.2	Redhat Linux Advanced Server 3.2.3-47

データベースへの接続方法に関しては、下表をご覧ください。

データベース製品	接続方法	接続に必要なソフトウェア
Oracle10g	JDBC (Type4 非XA)	Oracle JDBC Drivers release 10.1.0.2.0 (10g) WebLogic Type 4 JDBC ドライバ (intra-mart AppFramework + WebLogicの場合のみ)
Microsoft SQL Server 2000	JDBC (Type4 非XA)	Microsoft SQL Server 2000 Driver for JDBC Version 2.2.0037 WebLogic Type 4 JDBC ドライバ (intra-mart AppFramework + WebLogicの場合のみ)
IBM DB2 UDB 8.2	JDBC (Type2 非XA)	DB2 JDBC Driver (IBM DB2 ver8.2に付属) Type2
postgresql-8.0.0	JDBC (Type4 非XA)	postgresql-8.0-312.jdbc3

- (1) intra-mart の提供する各実装(機能や画面等)は、XA ドライバには対応しておりません。
- (2) IBM DB2 UDB 8.2 へは、IBM DB2 UDB Ver.8.2 に付属する JDBC ドライバで接続します。
- (3) IBM DB2 をご利用の際、IBM が Linux においてサポートする JDK は、SUN JDK ではなく、IBM JDK 1.4.1 以降となります。<http://www-128.ibm.com/developerworks/java/jdk/> (2006 年 10 月 27 日現在)
- (4) PostgreSQL 8.0 は、Unicode でのみ検証しています。PostgreSQL 8.0 サーバが他の文字エンコーディングの場合、文字化けが発生し易い事が確認されています。

3.3.5 クライアント

クライアントに関しては、以下の環境にて動作が確認されています(動作検証済バージョンのブラウザを推奨します)。

- Windows2000 + Netscape 7.1
- Windows2000 + Microsoft Internet Explorer 6.0(SP1)
- WindowsXP + Netscape 7.1
- WindowsXP + Microsoft Internet Explorer 6.0(SP2)

4. 制限事項

- (1) intra-mart Format Creator は、ワークフローのプロセス種別「ドキュメントワークフロー」、「申請者／承認者ルート作成ワークフロー」を主体とした製品実装となります。そのため、プロセス種別「ビジネスプロセスワークフロー」には対応していません。
- (2) intra-mart Format Creator は、下位バージョンとの互換性はありません。
- (3) [Format Creator]－「マスタメンテナンス」－「申請書メンテナンス」画面では、クライアントサイド JavaScript を多用しています。そのため、クライアントとして使用しているマシンのスペックが足りない場合、CPU 処理率が100%となり操作がしにくくなります。

また、クライアントに搭載するメモリが少ない状態で Netscape 7.1 を利用する場合、Netscape 7.1 が異常終了する場合があります。

%ResoruceService%/pages/product/src/format_creator/fc.ini 設定ファイル内、セルの最大数(MAX_CELL_COUNT) を初期設定値の「36」とした場合、次のクライアント検証環境にて、正常に動作する事を確認しております。

また、同検証環境において、セルの最大数(MAX_CELL_COUNT)を「100」とした段階より、序々に操作が重たくなります。

クライアント検証環境:CPU Intel(R) Celeron(R) プロセッサ 1.70GHz

※該当操作において、CPU 使用率は大きいものの、メモリ使用量大きいものではありません。

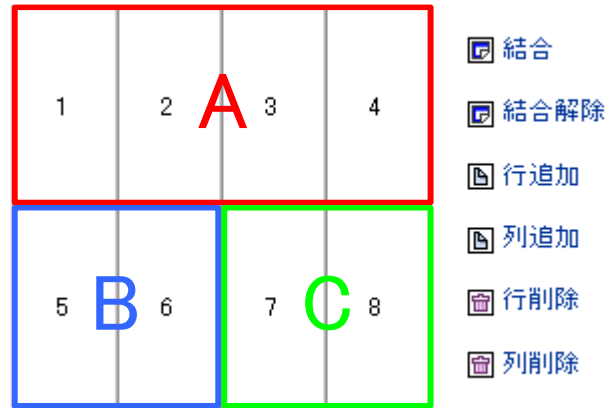
※クライアントマシンの物理メモリは 256MB以上を推奨します。

- (4) 各画面から呼び出すことができるHELP画面は、カラーパターン変更には対応していません。
- (5) その他、intra-mart WebPlatform／AppFramework の制限事項に準拠しています。

5. これまでに判明している問題

5.1 現象

クライアントブラウザに、Microsoft Internet Explorer 6.0(SP1)(XP の場合は SP2)を利用した場合、
[FormatCreator]-[マスタメンテナンス]-[申請書メンテナンス] 画面より、次のように、セル「1」、「2」、「3」、「4」を結合した結合セル「A」、セル「5」、「6」を結合した結合セル「B」、セル「7」、「8」を結合した結合セル「C」を作成します。



このようなレイアウトを作成した場合、次の画面で結合セル「C」の右側の罫線が表示されません。

1. [FormatCreator]-[マスタメンテナンス]-[申請書メンテナンス] 画面→「申請書項目一覧」内の「申請書レイアウト」時



2. [FormatCreator]-[マスタメンテナンス]-[申請書メンテナンス] 画面→「申請書項目一覧」からの「プレビュー」時



3. [ワークフロー]-[起票]画面→該当レイアウトの申請書によるプロセス定義による申請時



5.2 原因

この問題は、TABLE タグの定義では、COLSPAN 属性を使用し、4つの列を連結して、1つのセルとして表示を行うように設定されております。

しかし、実際には各 TR タグ内に TD タグが 2 つしか設定されておらず、COLSPAN 属性で設定されたものよりも少ない列しか定義されておられません(下記 HTML ロジックを参照)。

```
<TABLE>
  <TR>
    <TD colspan="4"> . . . . . A の定義
  </TR>
  <TR>
    <TD colspan="2"> . . . . . B の定義
    <TD colspan="2"> . . . . . C の定義
  </TR>
</TABLE>
```

基本的には、W3C で定義されている HTML 4.01 の仕様を元に各ブラウザを開発していると考えますが、HTML 4.01 の仕様に定義されていないものは、各ブラウザの開発元が独自の実装を行っていると考えられ、Internet Explorer の場合、独自実装の影響により今回の問題が発生してしているものと推測されます。

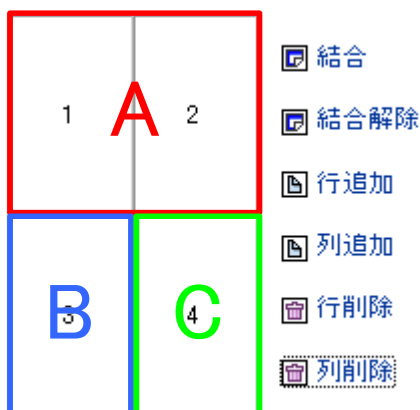
参考:HTML 4.01 Specification

< <http://www.w3.org/TR/1999/REC-html401-19991224/> > (2006/10/27 現在)

5.3 対策

実際の各 TR タグ内の TD タグと、COLSPAN 属性で設定する値が統一する定義を作成する事で問題を回避する事ができます。

[FormatCreator]-[マスタメンテナンス]-[申請書メンテナンス] 画面より、次のように、セル「1」、「2」を結合した結合セル「A」、セル「3」(=セル「B」)、セル「4」(=セル「C」) を作成します。



6. 著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国ならびにその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

各ソフトウェアのライセンスについては、同封のライセンスシートをご参照ください。

以上